

# 音楽について

2025/12/22

樹脂製造部 組立課（柿原技研） 武田

皆様、おはよう・こんにちは・こんばんは

人それぞれ色々な趣味を持たれていると思います。

旅行・読書・映画鑑賞・サイクリング・料理・釣り・キャンプ etc.

挙げだしたらキリがなく多くの趣味があります。

その中でも【音楽を聴くこと・音楽鑑賞】は多くの人が趣味と言われるでしょう。

私自身おじさんになった昨今、新しい音楽に対して興味が薄れてしまっています。

この現象に共感する方も多いのではないのでしょうか？

歳を重ねると馴染みのある音楽に回帰し、新しい曲を聴くのが苦痛に感じることも増えてくるという研究結果もあります。

若い頃には、新しい音楽や刺激を積極的に受け入れやすく、好みも流動的です。

しかし、加齢により脳の「可塑性（プラスチシティ）」が減少するため、新しい体験や情報を柔軟に受け入れる能力が低下します。

思春期から20代にかけては脳が大きく成長し、この期間に聴いた音楽が人生の「基盤」として脳内に固定化されやすくなります。

このため、歳を重ねると親しみのある音楽への回帰が進み、新しい音楽には慣れにくくなるのです。

特に、可塑性の減少は40代以降で顕著になることが知られており、新しい曲への関心も薄れがちになります。

年齢を重ねると、脳は「安心感」や「快適さ」を求める傾向が強くなります。

馴染みのある音楽には、過去の思い出や感情が結びついていることが多く、脳はこれを聴くことで心地よさや安らぎを感じます。

加齢と共に、新しい音楽を聴くこと自体が「疲れる」と感じやすくなります。

新しい曲は、メロディやリズム、歌詞など未知の要素が多いため、理解や分析に脳がエネルギーを費やします。

一方で、馴染みのある音楽は一度覚えた旋律や歌詞が自然に流れ込み、心理的負担も少なくなります。

【音楽】は昔の曲を聴くのも自由、最新の曲を聴くのも自由です。

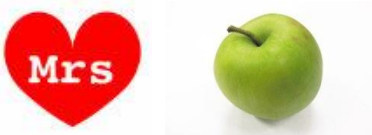
一方【仕事】においてはどうか？

AIの活用・自動検査機の導入・コンカー（経費精算）・電脳工場・VG Cloud(勤怠管理)・KaBOS(お弁当)

新しいことが導入され、今後も覚える事が増えるでしょう。

古い音楽ばかり聴いている人にはもしかして苦痛に感じ、「今まで通りの方がいいのに」と思った人もいるかもしれません。

私は新しい音楽を聴くことから心掛け、仕事する上でも新しい事に挑戦する気持ちで取り組みたいと思っています。



最後に年代別の音楽の関心度についての表です。

● 1年以内にお金を支払った音楽商品・サービス（全年代）

	全体	10代	20代	30代	40代	50代
	n=10,695	n=713	n=1,987	n=2,459	n=3,053	n=2,483
CD購入	35.8%	44.9%	38.4%	34.1%	34.4%	34.7%
CDレンタル	29.3%	39.6%	37.3%	32.3%	25.8%	21.2%
音楽DVD/Blu-ray購入	20.9%	34.8%	25.6%	19.7%	18.6%	17.5%
音楽DVD/Blu-rayレンタル	14.9%	26.6%	19.0%	14.5%	12.9%	10.9%
ライブ	23.8%	38.7%	31.8%	22.7%	19.4%	20.0%
音楽フェス	10.1%	22.0%	16.9%	11.1%	5.9%	5.6%
デジタル音源(ハイレゾを除く)	17.9%	20.5%	25.4%	20.5%	16.0%	11.0%
ハイレゾ音源	6.8%	12.1%	11.0%	7.7%	4.8%	3.5%
定額制音楽配信サービスの月額料金	11.2%	15.4%	17.5%	11.6%	9.2%	7.1%
アーティストグッズ	17.3%	41.2%	26.0%	16.7%	12.6%	9.5%
ファンクラブ	13.9%	28.5%	20.6%	13.6%	10.4%	8.8%
音楽雑誌	9.7%	24.1%	13.4%	9.7%	6.4%	6.1%
デジタル映像	11.9%	20.8%	15.9%	12.1%	9.6%	8.8%

MMD研究所調べ

昔はレンタルレコード屋に行き、カセットテープに録音し、S●NYのウォークマンで聴いたものです。  
自転車のカゴにレコードを入れ、落ちないように帰った記憶があります。  
今ではSpotify・YouTube Music・AmazonMusicなどなど便利な音楽配信サービスがあります。  
そんな便利なサービスを利用しない（利用の仕方が分からない）、そもそも音楽に関心が薄れている。  
勿体ない事です。

皆さんはどの様な音楽を聴いていますか？